

救急災害医学・救急部

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	1 人	(1 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	2 人	(2 人)
診療助教	1 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	5 人	

2 教員の異動状況

吉野篤人（教授）（平成 25 年 5 月 1 日～現職）

齋藤岳児（講師）（平成 24 年 4 月 1 日～助教 平成 26 年 8 月 1 日～講師）

高橋善明（助教）（平成 25 年 10 月 1 日～現職）

穂積宏尚（助教）（平成 25 年 8 月 1 日～現職）

辻 孝之（助教）（平成 27 年 1 月 1 日～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	7.47	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Saitoh T, Tanaka J, Furugen A, Harada K, Izumo M, Fukuoka Y, : Impact of energy loss index and valvuloarterial impedance in patients with aortic stenosis using three-dimensional echocardiography. Echocardiography. 32(4) :654-9. 2015Apr [1.254]
2. Hozumi H*, Enomoto N, Oyama Y, Kono M, Fujisawa T; Inui N, Nakamura Y, Suda T, :Clinical Implication of Proteinase-3-antineutrophil Cytoplasmic Antibody in Patients with Idiopathic Interstitial Pneumonias. Lmg.194(2):23542,2016. [2.271]

インパクトファクターの小計 [3.525]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Suwa K, Saitoh T, Takehara Y, Sano M, Nobuhara M, Saotome M, Urushida T, Katoh H, Satoh H, Sugiyama M, Wakayama T, Alley M, Sakahara H, Hayashi H. :Characteristics of intra-left atrial flow dynamics and factors affecting formation of the vortexflow-analysis with phase-resolved 3-dimensional cinephase contrast magnetic resonance Imaging. CircJ.;79(1) :144-52. 2015 [3.940]

インパクトファクターの小計 [3.940]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Crowned dense syndrome. Yamada T, Saitoh T, Hozumi H, Takahashi Y, Nozawa M, Mochizuki T, and Yoshino A, : Acute Surgery and Medicin 2:27,2015

インパクトファクターの小計 [0]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 27 年度
（1）科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）	1 件 （110 万円）

(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件	(0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件	(0 万円)

(1) 科学研究費助成事業（文部科学省、日本学術振興会）

齊藤岳児 基盤（C）、MRI を用いた心腔内血流の解析、平成 25 年度から平成 27 年度、390 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	1 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	4 件
(6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

1. Measurements of Tissue Oxygen and Hemoglobin on A Near Infra-red Spectroscopy in Emergency Patients With Poor General Conditions AHA Resuscitation Science Symposium（アメリカ循環器病学会）Nov 10, 2015, Orlando, USA

ポスター発表

1. Emergency Medical System in Hamamatsu city and the role of University Hospital. 8th Asian Conference for Emergency Medicine. 2015 Nov. Taipei.

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表

1. 浜松医科大学医学部附属病院における南海トラフ大地震に対する備え～外科系医師が中心とな
って関わる防災への取り組み～、第40回日本外科系連合学会、2015年6月19日、東京都

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

吉野篤人：日本救急医学会 評議員

日本臨床救急医学会 評議員

日本集団災害医学会 評議員

齊藤岳児：日本循環器病学会東海評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道